

【政策の柱Ⅳ】

市民の豊かな暮らしを支える
活気と活力のある社会を築くために

第5次総合計画基本計画 中間総括評価表【施策編】

施策主管課	産業政策課	総合計画記載頁	157ページ
-------	-------	---------	--------

政策の柱	IV 市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	政策名 (基本施策名)	1 地域産業の創造性・発展性を高める	施策名	① 地域特性を生かした産業集積の促進
------	----------------------------------	----------------	--------------------	-----	--------------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)						達成率
					H19	H20	H21	H22	H23	H24	H22
					基準年	実績	実績	実績	見込み	見込み	H24見通し
◆地域特性を生かした産業集積の促進のため、産学官の連携や農商工連携などの新たなネットワークによる地域産業の活性化を進めている。 ◆地域特性を生かした産業の振興のため、国の農・商・工連携支援事業や、県の研究開発補助事業などの共同研究開発等プロジェクト支援事業を活用し、地域の中小企業による農・商・工連携や技術強化などに取り組んでいる。	◆地域特性を生かした産業の創出のための共同研究開発等プロジェクト数は、社会経済環境が厳しい中、企業の投資が抑えられる傾向にあるが、毎年目標値の20件を達成している。 ⇒平成24年末の状況としては、今後も同様の傾向が続くと見通していることから、目標の達成はできるものと見込む。	100.0%	共同研究開発等プロジェクト数	件数/年		20	20	20	20	20	100.0%
					19	21	28	20	20	20	100.0%
課題 ◆次世代モビリティ産業集積促進事業については、企業ニーズに対応した支援の展開が課題となっている。 ◆企業誘致推進事業については、誘致活動の強化が課題となっている。 ◆うつのみやアグリネットワーク推進事業については、開発商品の認知度向上や品質向上が課題となっている。			市民意識調査(重要度・満足度)			H20	H21	H22			
					重要度	50.2	49.1	52.0		%	
					満足度	21.0	15.5	14.9			%

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		
次世代モビリティ産業集積促進事業	→	→	◆人材育成戦略のロボット競技会やイノベーション戦略の超音波研究会など各種事業の参加者が増加しており、地域に浸透しつつある。 ⇒人材育成戦略については、より効果的な事業運営により、多くの人材が育成されるとともに、イノベーション戦略では、企業ニーズの招聘による新たな支援内容の検討を進める。	◆昨今の世界的な経済情勢を踏まえ、戦略の見直しが必要となっている。
(仮称)産業観光情報プラザの整備	→	→	◆公共の中核となるコンベンション施設整備と、それを補完する公共機能について、外部懇談会において提言書の提出に向けた機能検討を行い意見集約を進めている。 ⇒補完機能の一つとして、産業振興機能があげられており、懇談会提言書を踏まえ、必要な機能の検討を行っていく。	◆施設整備については、民間動向の把握や経済動向を確認しながら検討する必要がある。
アグリネットワーク推進事業	→	→	◆H22年までに創出された45プロジェクトのうち、17件が商品化されており、商談会・物産展への参加・出展支援の結果、販路が着実に広がっている。 ⇒現在進行中のプロジェクトも予定通り商品化が見込まれ、宇都宮をPRするアイテムがさらに増える見通しである。	◆開発商品の品質向上を図るため、開発段階に応じたアドバイスができる専門家の相談体制を整備する。開発商品の認知度向上のため、ブランド農産物等と連携したPRを展開する必要がある。

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	
1	企業誘致推進事業費	企業誘致推進事務	H14	訪問・電話案内	件	100	100	100	100
						105	131	124	
2	企業立地・拡大再投資補助金	市内の工業団地等に立地・増設を行う成長分野の製造業、基盤的技術産業、中小製造業等	H14	制度活用企業数	社	10	10	10	10
						5	6	2	
3	うつのみやアグリネットワーク推進事業補助金	うつのみやアグリネットワーク	H20	プロジェクト件数	件	10	15	15	15
						14	12	10	
				ネットワーク会員数	人	100	105	110	115
						98	126	144	

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値,下段:実績値)			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	
4	うつのみやアグリファンクラブ推進事業補助金	うつのみやアグリファンクラブ	H20	情報発信	回	4	4	4	4
				アグリファンクラブ会員数	人	2,000	3,000	3,000	4,000
5	「食の街道」推進協議会負担金	宇都宮「食の街道」推進協議会	H21	スタンプラリー完走者数	人	—	500	500	0
						—	284	67	
6	高度技術産学連携推進協議会負担金	栃木県高度技術産学連携推進協議会(県・5市4町・大学・産学支援機関等)	H12	構成市町と連携して実施するセミナー等への参加者数	人	200	200	200	200
						195	297	300	
7	栃木科学・技術シンポジウム共催負担金	栃木科学・技術シンポジウム運営委員会(宇都宮大学)	H13	栃木科学技術シンポジウム開催	回	1	1	1	1
				参加者数	人	200	200	200	200
8	高度技術産学連携地域対象事業補助金	(財)栃木県産業振興センター	H13	高度技術振興事業のうち人材育成事業の実施回数	コース	20	20	20	20
				高度技術振興事業のうち人材育成事業の参加者数	人	500	500	500	500
9	産学連携推進事業共催負担金	うつのみや産学官連携推進ネットワーク(宇都宮商工会議所)	H11	産学官連携推進事業の実施回数	回	4	4	4	4
				事業参加者数	人	100	100	100	100
10	次世代モビリティ産業集積促進事業交付金	次世代モビリティ産業集積推進会議	H16	コーディネーターによる企業訪問数	件	70	100	100	100
				フォーラム・交流会等への参加者数	人	200	200	200	200
11	地域産業情報化推進事業	宇都宮おもてなし情報発信事業推進協議会	H21	入込客数	千人		13,885	14,259	14,659
							13,879	13,531	
12	産業振興機能強化事業	市内の農業、商業、工業、観光などの産業関連事業所等	H22	産業振興ビジョンの策定	件	—	—	—	1
				産業振興懇談会の開催 ※H22予算はビジョン策定に含まれる	件	—	—	2	4
				起業・創業相談設置	件	—	—	—	1
13	販路開拓支援事業補助金	市内の産業等に関する協同組合等の団体	H23	補助件数	件	—	—	—	6

第5次総合計画基本計画 中間総括評価表【施策編】

施策主管課	産業政策課	総合計画記載頁	157ページ
-------	-------	---------	--------

政策の柱	IV 市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	政策名 (基本施策名)	1 地域産業の創造性・発展性を高める	施策名	② 新規開業・新事業創出の促進
------	----------------------------------	----------------	--------------------	-----	-----------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)						達成率
					H19 基準年	H20 実績	H21 実績	H22 実績	H23 見込み	H24 見込み	H22 H24見通し
◆市外からの起業家の集積を図るため、「チャレンジャーのまちうつのみや」推進事業による創業支援を行っている。 ◆起業家の裾野拡大のため、「宇都宮ベンチャーズ事業補助金」により、交流会、セミナー・講演会などの各種事業を実施している。	◆事業所新設率については、直近では増加している。 ⇒社会経済環境が厳しい中ではあるが、各種施策の推進により、H24の見通しとしては、基準年をベースとした目標は達成できるものと見込む。	107.1%	事業所新設率 (年間平均新設事業所数÷前回調査時の事業所数×100)	年率		4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	107.1%
					4.2	4.5	4.5	4.5	—	—	—
課題 ◆宇都宮ベンチャーズ事業補助金については、より効果的な支援事業の実践が課題となっている。 ◆地域産業の活性化を図るためには、市外からも含めた起業家の集積促進を図ることが課題となっている。											
			市民意識調査(重要度・満足度)			H20	H21	H22			
					重要度	41.6	41.2	46.9			%
					満足度	14.0	13.0	11.5			%

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		
起業チャレンジャーの育成・集積促進事業		→	◆宇都宮ベンチャーズ事業補助金については、起業家支援施設の運営やセミナー、講演会等各種起業家支援事業を行っているが、施設の入居や起業の実現の促進に結びついていない。 ⇒H24に向け、起業環境創造事業のビジネスプランコンテストを通じた起業家の発掘や、起業・創業相談窓口の設置など、起業家が成長していける支援事業の推進、環境づくりなど、他の事業や関係機関とも連携して、より効果的な支援事業を実施し、起業家育成支援施設の入居や起業の実現が促進される見通し。 ◆チャレンジャーのまちうつのみや推進事業については、補助金の利用促進を図っているが、利用者は微増にとどまっている。 ⇒H24に向け、起業環境創造事業を通して効果的な事業周知が行なわれ、利用者の増加が図られる見通し。また、起業・創業相談窓口による相談支援など、より効果的な支援が可能になる見通し。	◆起業チャレンジャーの育成・集積促進に対する課題については、各種起業家支援事業を行ったり、補助金の利用促進を図っているが、施設の入居や起業の実現、補助金利用の促進に結びついていないことから、効果的な事業実施・手法が必要となっている。

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)			
						H20 実績	H21 実績	H22 実績	H23
1	宇都宮ベンチャーズ事業補助金	宇都宮ベンチャーズ	H15	起業家育成講座・講演会の参加者数	人	400 448	400 402	400 277	400
2	チャレンジャーのまちうつのみや推進事業	起業希望者	H20	UJIターン起業促進補助金補助件数	件	3 2	5 2	5 5	5
3	起業環境創造事業	起業希望者	H23	ビジネスプランコンテスト応募者数	人	— —	— —	— —	20

第5次総合計画基本計画 中間総括評価表【施策編】

政策の柱	IV 市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	政策名 (基本施策名)	1 地域産業の創造性・発展性を高める	施策名	③ 就業・雇用環境の充実
------	----------------------------------	----------------	--------------------	-----	--------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)						達成率
					H19 基準年	H20 実績	H21 実績	H22 実績	H23 見込み	H24 見込み	
◆景気低迷等による厳しい雇用環境の中で、中小事業所の雇用の安定化を図るため、雇用維持に係る助成制度などによる支援を行っている。 ◆事業所都合による離職者など求職者の就労や新規学卒者の就職を支援するため、一時的な雇用の場の創出や資格取得につながる講座の実施などの取組を進めている。	◆総合計画に掲げた活動指標について、雇用保険受給者数はH20に急増した後は減少している。 ⇒H24末の状況としては、金融危機および東日本大震災の影響で離職者が増加したことに伴い、目標の達成は難しい。	75.2%	雇用保険受給者数 (各年度末月における受給実人数)	人		2,270	2,200	2,130	2,060	2,000	75.2%
					2,369	3,667	3,080	2,661	2,600	2,500	80.0%
課題 ◆景気低迷の長期化や大震災の影響などにより、厳しい雇用環境が続いており、雇用の維持・確保と求職者の円滑な就労が課題となっている。			市民意識調査(重要度・満足度)			H20	H21	H22			
					重要度	78.2	77.1	67.7			%
					満足度	16.1	14.0	13.9			%

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)			
						H20 実績	H21 実績	H22 実績	H23
1	雇用助成金	事業主都合による離職者等を常用雇用した事業主	H16	助成労働者数	人	100	110	110	110
						29	72	62	
2	トライアル雇用助成金	試用雇用奨励金の支給決定を受けた事業主	H21	助成労働者	人	0	200	200	200
						0	0	83	
3	緊急地域雇用特別対策	失業者等	H21	緊急雇用創出事業 新規雇用者数	人	0	145	145	500
						0	293	545	
			H21	ふるさと雇用再生特別事業 新規雇用者数	人	0	24	24	24
						0	22	22	
4	夜間職業訓練(資格取得講座)の実施	市内の非正規労働者	H21	受講者数	人	0	60	60	180
						0	60	120	

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値（上段：目標値、下段：実績値）			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	
5	求人企業合同面接会	宇都宮公共職業安定所管内の求職者	H14	合同面接会の開催回数	回	3	3	3	3
				合同面接会への参加者（求職者）数	人	0	0	4	
					1,300	1,300	1,300	1,300	
					1,682	2,689	2,448		
6	雇用支援対策事業	就職、再就職を希望する求職者・新卒予定者	H15	就職（再就職）支援セミナー受講者数	人	40	40	40	40
					80	22	28		
7	勤労者向けガイドブックの発行	勤労者・求職者・事業主	H7	働くあなたのサポートガイド発行部数	冊	2,000	2,000	2,000	2,000
					2,800	2,800	7,700		
8	労働相談事業	勤労者・事業主	S53	労働相談事業実施回数	回	30	24	24	24
					30	24	24		
				相談者数	人	60	50	50	50
					63	58	51		
9	中小企業退職金共済制度加入促進補助金	中小企業退職金共済事業本部と新規に契約を結んだ事業所	S46	補助対象事業所数（新規）	所	100	100	100	100
					105	126	100		
				補助金交付事業所数	所	90	90	90	90
					105	99	98		
10	雇用確保のための普及・推進事業	市内の事業所	H12	事業所訪問延べ日数	日	100	100	100	100
					73	79	175		
				訪問事業所数	件	1,000	1,000	1,000	1,000
					759	1,036	2,434		
11	中小企業福祉事業補助金	中小企業の勤労者（瑞穂野工業団地組合、宇都宮繊維卸共同組合）	S63	補助金交付団体数	団体	2	2	2	2
					2	2	2		
12	勤労者福利厚生事業補助金	中小企業の勤労者（宇都宮地区労働組合会連、連合栃木宇都宮地区協議会）	S44	補助金交付団体数	団体	2	2	2	2
					2	2	2		
13	瑞穂野勤労者会館管理運営事業	市内在住または勤務する勤労者等	H15	瑞穂野勤労者会館利用者数	人	23,000	23,000	23,000	23,000
					22,647	22,830	24,093		
14	共同職業訓練事業補助金	宇都宮共同高等産業技術学校運営会	S43	普通課程訓練生数	人	100	100	100	100
					46	36	29		
				普通課程及び短期課程の修了者数	人	40	40	40	40
					42	42	9		
15	宇都宮地区雇用協会事業補助金	宇都宮地区雇用協会	S41	面接会開催回数	回	1	1	1	1
					1	1	1		
				就職合同相談会参加者数	人	250	250	250	250
					408	434	316		

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値（上段：目標値, 下段：実績値）			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	
16	宇都宮地区労政協会事業負担金	宇都宮地区労政協会	S37	正会員企業数	社	60	60	60	60
						50	50	48	
17	永年勤続表彰事業補助金	宇都宮労働基準協会	S45	永年勤続表彰受賞者数	人	105	150	150	150
						105	77	82	
18	雇用支援対策基金費	雇用支援対策基金	H15	雇用支援対策基金積立金	千円	13,280	825	525	150
						13,952	518	329	
19	中小企業等勤労者福利厚生資金融資貸付金	市内の中小企業勤労者	S44	融資件数	件	5	5	5	5
						0	0	0	

第5次総合計画基本計画 中間総括評価表【施策編】

政策の柱	IV 市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	政策名 (基本施策名)	1 地域産業の創造性・発展性を高める	施策名	④ 地産地消の推進
------	----------------------------------	----------------	--------------------	-----	-----------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)						達成率
					H19	H20	H21	H22	H23	H24	H22
					基準年	実績	実績	実績	見込み	見込み	H24見通し
◆新鮮で安全・安心な地元農産物がどこでも手に入る仕組みを構築するため、地産地消啓発活動や消費・販路拡大の取組を強化する。 ◆消費者の多様なニーズに対応するための生産体制を確立するとともに、高付加価値で、安全・安心な農産物生産を促進する。	◆市民意識調査の結果、施策に対する重要度は減少傾向にあり、満足度は横ばいとなっている。 ◆活動指標である地産地消朝市の利用者が増加傾向にあり、地域食料自給率の向上が図られていると考えられる。 ⇒今後も引き続き、地産地消の推進に係る事業を展開し、地域食料自給率の向上が図れるよう努める	83.8%	地域食料自給率	%		33	34	35	36	37	83.8%
					31	31	31	31	31	31	83.8%
課題 ◆地産地消啓発活動の推進については、地場農産物に対する市民の関心や購買意欲の向上を高めることや、福島第一原発事故の影響の払拭が課題となっている。 ◆消費者ニーズに対応した農産物の生産を振興するためには、消費者(実需者)、生産者及び流通事業者等による情報交換を促進し、少量多品目の需要や高品質かつ安全安心な農産物の生産・出荷体制の構築が課題となっている。											
			市民意識調査(重要度・満足度)			H20	H21	H22			
					重要度	72.9	65.4	63.5			%
					満足度	27.8	26.7	28.5			%

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		
[地産地消の推進] 地産地消啓発活動の促進		→	◆啓発キャンペーンのシンボルとなるよう、毎月第3日曜日を「地産地消の日」と定め、同日に地産地消朝市を開始した。 ⇒朝市来場者数は増加傾向にあったが、普及効果が限定的であるため、城址公園での開催は3年で終了し、H24に向け、朝市に替わり地産地消推進店等と連携した啓発事業を新たに展開する見通し ◆地産地消推進店認定事業については、認定制度の運用が始まり、毎年、推進店を認定している。 ⇒H24に向け、推進店の増加が見込まれ、推進店を拠点とした情報発信や啓発活動の促進が図れる見通し ◆アンテナショップの拡充として、オリオン通りの「宮カフェ」やJR宇都宮駅ビル内「えきの市場」を地場農産物のPR拠点として活用するほか、大型直売所の整備に向けた検討を進めている。 ⇒大型直売所については、H24に向け、JAうつのみやが主体となり施設整備計画が策定される見通し	◆地産地消啓発活動の推進については、市内で生産される農産物の旬や取扱店舗に関する情報が少ないため、地場農産物に対する市民の関心や購買意欲の向上を高めることや、福島第一原発事故の影響を払拭する必要がある。
[地産地消の推進] 消費者ニーズに対応した農産物の生産振興		→	◆農産物の生産力強化策として、生産施設の整備や機械導入に対する補助を行っているが、園芸施設の規模拡大が低調となっている。 ⇒H24に向け、生産規模の拡大に加え、高品質化に向けた施設設備の導入支援を行うことで、消費者ニーズに対応した生産が維持が図られる見通し ◆学校給食出荷支援として、施設設置に対する助成を行ってきたが、設置件数は目標を下回っている。 ⇒H24に向け、学校給食へ安全で安心な地場農産物を供給できるよう、実需者と生産者の交流促進など新たな支援策を講じることにより、供給体制が維持できる見通し ◆安全安心な農産物の供給を促進するため、県やJAとの連携により、残留農薬の自主検査への支援や、生産履歴の記帳と公表への取組を進めてきた。 ⇒H24に向け、個人出荷者や直売所運営団体への支援を拡充することで、安全安心な地場農産物がより多くの市民に購入される見通し	◆消費者ニーズに対応した農産物の生産を振興するためには、消費者(実需者)、生産者及び流通事業者等による情報交換を促進し、少量多品目の需要にも対応し、高品質かつ安全安心な農産物の生産・出荷体制の構築が必要となっている。

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	
1	地産地消推進事業補助金	3名以上の生産者団体等	H19	施設設置面積	a	75	70	70	70
						15	3	4	
				パイプハウス設置棟数	棟	25	25	25	25
						8	2	1	
2	地産地消推進事業交付金	宇都宮市地産地消推進会議	H20	地産地消朝市来場者数(朝市はH23.7終了)	人	5,000	6,000	6,000	6,000
						4,500	4,450	4,750	
			うつのみや地産地消推進店数	店	0	0	67	80	
						0	0	67	
3	地産地消推進会議	宇都宮市地産地消推進会議委員	H20	地産地消朝市来場者数	人	5,000	6,000	6,000	6,000
						4,500	4,450	4,750	
			うつのみや地産地消推進店数	店	0	0	67	80	
						0	0	67	
再掲	農林産物ブランド化推進事業補助金	うつのみや農産物ブランド推進協議会	H11	うつのみや産農畜産物の市民認知度(トマト)	%	20	20	20	20
						20	20	20	
				うつのみや産農畜産物の市民認知度(梨)	%	18	18	18	18
						18	18	18	
				うつのみや産農畜産物の市民認知度(牛)	%	56	57	57	57
						56	56	56	